

美しいまち  
とけ込む文化

# 第7回 しまね景観賞



島 根 県



## はじめに

---



島根県知事 **澄田信義**

私たちのふるさと島根は、県民の歌にもありますように薄紫の山脈、景勝に富んだ海岸線など優れた自然景観に恵まれ、また、古来、伝統文化に彩られた個性豊かな歴史的景観も育んでまいりました。

このように先人から受け継いだ貴重な景観を保全し、次の世代に引き継ぐとともに、これをさらに望ましい姿として生長させるため、平成3年12月に「ふるさと島根の景観づくり条例」を制定し、この条例に基づきさまざまな取組を進めてきました。その結果、県民及び事業者の皆様が景観に対する意識が醸成され、更に魅力ある景観が保全・創造されつつあります。

なかでも今回第7回を迎えた「しまね景観賞」は、県民・事業者の皆様及び行政が共に参加し、地域の景観づくりに特に貢献された方々を表彰する制度であり、景観づくりに携わる方々やそれぞれの地域において、景観に対する意識の高揚に大きく寄与しているものと考えています。

今後とも、「しまね景観賞」が本県の景観づくりへの関心の高まりにつながり、心の豊かさと活力にあふれる地域をつくるための一助になることを期待しています。

このたび受賞されました皆様に、心からお祝いを申し上げますとともに、この趣旨に賛同し応募をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

また、選定に当たり御尽力いただきました「しまね景観賞審査委員」の皆様にも、深く敬意を表します。

平成12年2月



## 選考総評



しまね景観賞審査委員会  
委員長 **藤岡大拙**

今回で7回目を迎えたしまね景観賞の応募数は96通で、うち最終審査に残ったものは33件であった。

選定にあたっては、新しいものでも周辺に配慮したものであること、あるいは、関連するところが協力しあってよりよいものを目指していること、などを念頭において審議を行った。いずれの物件とも質が高く、長時間にわたり慎重に審議を重ね、以下のとおり11件の物件・活動を選定した。

大賞に選ばれた『島根県立美術館・岸公園・宍道湖袖師親水型湖岸堤』は、美しい宍道湖畔にできた新しい景観で、それぞれの行政機関が協力し、一体的整備が行われている。芸術を鑑賞する場、夕日を眺めながら散策する場、四季を通じて水と親しむ場という3つの「場」を提供し、景観として優れていることはもとより、人びとが集いあえる、すばらしい空間を創造していることが高く評価された。

優秀賞は2件である。土木施設部門からは『小田川県単独砂防環境整備事業』が選ばれた。自然に親しむための県民の森であることから、その中を流れる河川整備として、造りすぎない整備が評価された。工作物その他部門からは『JR木次線トロッコ列車「奥出雲おろち号」』が選ばれた。乗客と沿線の人々との交流の演出、そしてまた列車から見ることと列車が見られることを意識した事業が景観的に評価された。

奨励賞は7件である。まちみどり部門『忌部花街道』は、島根国体に端を発した地域住民の活動が脈々と受け継がれ、花壇づくりによって街道を行き交う車窓からの眺めに潤いを与えていることが評価された。同じくまちみどり部門『松江市立第一中学校周辺の並木及び石積整備』、土木施設部門『石見やかみ地区県営ふるさと水と土ふれあい事業』、一般建築物部門『道の駅シルクウェイにちはら・リバーサイド鮎のよりみち』・『津和野郵便局』、個人住宅部門『橋本家住宅』・『アトリエHEARTH』の6物件は、木材や石といった自然素材を使用し、その地域に溶け込むことを工夫した点が評価された。その他、特別賞の『高津川の水制工作物「聖牛」』については、伝統的水制工法により河川空間を環境及び景観的に優れたものとしていることが評価された。

最終審査に残った物件はいずれも表彰に値するものばかりであり、景観形成への取り組みの着実な拡がりを実感した。今後、さらに多くの県民、事業者の皆様が積極的に取り組まれることを期待するとともに、この表彰が多くのの人々に支持されるよう、引き続き努力していかねばならないと思っている。

# 大 賞



## 島根県立美術館・岸公園・ 宍道湖袖師親水型湖岸堤

### 所在地

松江市袖師町1番5号、4番地1、7番地

### 事業主体

島根県  
松江市  
建設省中国地方建設局出雲工事事務所

### 設計者

(株)菊竹清訓建築設計事務所、(株)アトラス、  
日本建設コンサルタント(株)、(株)アブル総合計画事務所

### 施工者

鴻池組・松江土建特別共同企業体、松江土建(株)、  
樹徳産業(株)、松友建設(株)、(株)豊洋建設、(株)広戸組

### 概要

建物 : 建築面積 9311.92m<sup>2</sup>  
構造 鉄骨鉄筋コンクリート造  
一部鉄骨造2階建  
屋根 チタン鋼フラットルーフ工法  
外壁 花崗岩乾式工法

公園 : 面積 約4,400m<sup>2</sup>  
舗装 島石敷舗装ほか  
植栽 高中木192本  
地被・草花類、張芝  
湖岸堤: 規模 芝生護岸 約5,800m<sup>2</sup>  
遊歩道 約410m  
舗装 黒御影・中国産白御影  
その他 木製突堤整備  
完成年月 平成11年3月



〈県民に開かれた美術館〉、〈水と調和する美術館〉などを基本テーマとする県立美術館は、その造形には内部空間にいたるまで常に宍道湖が意識されており、対岸から見る景観も、背後の山並みの緑の中に、湖面に沿って連続した緩やかな曲線のチタン鋼の屋根が映え、天候により宍道湖と共に表情をかえる様は正に絶景である。そして、建設省によって既存のコンクリート護岸を取り払い同時整備をされた親水型湖岸堤は、人々が散策する水際遊歩道や市民の憩うテラスや緩やかな勾配の芝生護岸となり、さらにまた、これらと連続して松江市によって同時整備をされた岸公園により、この袖師ヶ浦は、美術館を中心に三つの事業が見事に有機的に統一された水都松江に相応しい高次元の新しい景観に生まれ変わった。

この建築と土木部門が一体化し、三つの行政機関が協調した事業展開は、審査委員会でも高く評価され、満票で今年度の大賞に決定された。  
(矢田清治)

# まち・みどり部門 奨励賞



## 忌部花街道

### 所在地

松江市忌部地区

### 事業主体

忌部まちづくり推進委員会

### 概要

昭和57年くにびき国体を機に本格的に活動

会員数 約150人

花壇の数 22箇所

季節の花の種類

パンジー、チューリップ、アイリス、  
葉ボタン、日々草、マリーゴールド、  
サルビア、松葉ボタン、コスモスなど



「継続は力なり」という言葉があるが、地道な努力を最早10年近くも続けてこられた事実にも敬意を表したい。

そもそもは下忌部地区を中心にした菊作りの同好会が中心となって花壇を作っていたところ、くにびき国体の際の花づくりプロジェクトを経て、「忌部のまちづくり活動」に組み込まれ、現在は花壇が22ヶ所にまで増えたという。

中心メンバーは、主として寿会（平均年齢73歳）と自治会の委員、そして個人など150名位。種から自分達で作り、年間を通して植付け、水やり、草取り、植え替え、そして片付けと、一口に花作りといっても大変な作業に違いない。

願わくはこの活動がメンバーだけに任されるのではなく、街道沿いの住民たち、特に若者が、仲間に加わるようになって欲しいものだ。そうすれば本当の意味のまちづくり、景観づくりへと発展するだろう。

受賞を機会の一つ提案したい。活動はここまで知られたのだから、看板をはずしても良いのでは。残すならば、もう少し色彩を含めたデザイン上の工夫をお願いしたい。

(田村美幸)

# まち・みどり部門 奨励賞



## 松江市立第一中学校周辺の並木及び石積み整備

<b>所在地</b> 松江市外中原町46番地	<b>設計者</b> 松江市	<b>概要</b> 事業範囲 延長L=714.7m 石材 大屋石・島石（解体前に石に番号をつけ解体し、積み上げ時に旧石をできる限り使用し、解体前の形状になるよう復元）・来待石	植栽 イチョウ・ケヤキ・ソメイヨシノ・ヤマボウシなど 完成年月 平成10年3月
<b>事業主体</b> 松江市	<b>施工者</b> (株)庭の川島 (有)永野造園		



松江市外中原町の愛宕山に抱かれた月照寺は歴代の松江松平藩主の菩提寺として、自然環境に恵まれた閑静な佇まいを見せている。その前に位置する第一中学校敷地は、旧島根県立師範学校の跡地で、敷地の周辺には島石の石垣が今まで残されてきていた。この島石は、中海に浮かぶ八束町（大根島）の特産で玄武岩質の硬く丈夫な性質を利用して松江の建築の基礎石等にも珍重されてきたものであるが、今では貴重な材料となっている。このところ、その石垣の傷みが激しかったこともあり、今回の街路整備にあわせ修復し、既存の島石を出来る限り利用し組み直して、解体前の形状に近づける努力がなされた。

月照寺やその隣に新築移転された東林寺の道路面に面した竹垣や植栽等の雰囲気に合わせ、中学校の校庭外周の石垣上にぐるりと植栽を施し、フェンスや自転車置き場、グラウンドなどを目隠しして周囲の閑静な環境と一体感を持たせることに成功し、落ち着いた街路として甦った。

近年、松江市では「緑の大通り事業」を推進し、市内各所の街路整備を積極的に推進してきているが、今後は拠点毎の整備だけではなく、その拠点から別の拠点へと多くの人を誘う「導線」としての、さらに拡大した街路整備をと願うものである。

(小草伸春)

# 土木施設部門 優秀賞



## 小田川県単独砂防環境整備事業

<b>所在地</b> 飯石郡赤来町大字小田	<b>設計者</b> 日発技研(株)	<b>概要</b> 施工延長 L=520m 多自然型護岸工 (巨石積工 A=2,500m <sup>2</sup> )
<b>事業主体</b> 島根県	<b>施工者</b> 松田建設(株) (有)渡辺建設	階段式魚道工 2箇所 階段工 4箇所 完成年月 平成10年7月



近年の河川環境の整備では、河川のもつ多機能性に配慮した整備が検討されるようになってきたが、単に従来の河川整備で用いられてきたコンクリートが自然石に置き換わっただけなら、その意味はあまり感じられない。ともすれば、巨石をむやみに使用することにより河川のみが目立つような事例が多い中で、この整備事業は「県民の森」というレクリエーション地の場所性をうまく活かした整備がなされ、造りすぎたという感じを受けない。護岸と天端に連続性がある、護岸の高さと傾斜のバランスがいい、河床に変化をつけているなどの工夫があり、周辺の風景の中に収まっていて違和感がない。とくに、一般にない魚道の形態と配置がおもしろく、そこに子供達のプールとしての機能をもたせている。水遊びの歓声が聞こえるようだ。

(藤居良夫)

# 土木施設部門 奨励賞



## 石見やかみ地区 県営ふるさと水と土ふれあい事業

所在地	設計者	概要
邑智郡石見町大字矢上	島根県土地改良事業団体連合会	施工延長 L=161m
事業主体	施工者	石積護岸工
島根県	(株)溝辺組	八橋、木橋、東屋
		完成年月 平成11年3月



のびやかな田園風景が広がる於保知盆地の中ほど、石見町役場の隣に位置する水路である。比較的小規模なものであるが、規模に見合った「自然らしさ」や「親しみやすさ」の感じられる整備がなされている。

自然な曲折を見せる流れに沿って形作られている石積みは、大小さまざまな自然石を組み合わせたもの。自然石を使用しても、コンクリートに埋め込まれた格好のものでは窮屈そうな感じがして、その趣がもうひとつ生かされていないことがあるが、ここではその点、石それぞれの面白みが伝わってくる。八橋や散策路も整備され、周辺の緑地や背景の山々とも抵抗なく共存している風情であり、ほっと一息つけそうな水辺の景観が演出されている。多くの町民が出入りするエリアにふさわしい親水空間といえよう。(少し残念に思ったのは、2、3本、長く突き出した排水管が目についたこと。また、一部、擬木の使用も見られたが、やはり違和感のあるものである。)

今後、時に応じた手入れとともに、緩やかな自然の作用が、この流れのある景色のさりげない趣を一層深めてくれるものと思う。

(八田典子)



# 一般建築物部門 奨励賞



## 道の駅「シルクウェイにちはら・ リバーサイド鮎のよりみち」

### 所在地

鹿足郡日原町大字池村1997番地 4

### 事業主体

日原町  
鳥根県

### 設計者

(株)丹青社

### 施工者

大畑建設(株)  
堀建設(株)

### 概要

建物部分 木造平屋建一部2階 2,158.86㎡  
瓦葺き  
レストラン・農産加工施設ほか  
河川部分 擁壁工(自然石張) 800㎡ (10段)  
スロープ工L=150m  
展望デッキ(木製) 2基、親水広場

完成年月 平成11年 5月



「シルクウェイにちはら」は緑深い中国山地の山々に囲まれ、県内屈指の清流である高津川に面してつくられた、国道9号沿いの道の駅である。

建物は高津川の流れて沿って南北に細長く配置され、建物を結ぶ正面の回廊も、その自然の流れと同様に緩やかな曲線を描いている。この回廊は集成構造材や板材に見えるように使い、木の温もりを感じるとともに、建物の瓦葺きの屋根、板張りの外壁など、全体が暖かく柔らかな印象を受ける。色彩についても、屋根は3色程度の違う瓦を混ぜ合わせて柔らかな色合いを醸し出しながら、様々な表情を見せるよう工夫されていて近隣にある赤瓦の集落や豊かな自然と調和している。

建物の東側が高津川に面していて、豊かで清らかな水に触れられるよう親水護岸に整備されている。イベントができる広場や憩いの場が生まれ、夏は子供たちが水遊びをする姿が思い浮かべられる。自然石をうまく使い、建物と高津川を近づけた一体的整備は高く評価できる。

今回の施設整備と同様に、今後の新たな施設整備にも配慮され、この地域が日原町の顔となるような新しい景観が生まれ、地域住民が参加できる生き生きとした地域景観づくりが進んでいくことを期待したい。

(飯塚紀)

# 一般建築物部門 奨励賞



## 津和野郵便局

### 所在地

鹿足郡津和野町大字後田口297

### 事業主体

中国郵政局

### 設計者

中国郵政局

### 施工者

大畑建設(株)

### 概要

建築面積 624.85m<sup>2</sup>  
構造 木造2階建て  
屋根：塗装アルミ亜鉛メッキ鋼板  
外壁：杉板縦羽目張り 本実目透かし  
完成年月 平成10年10月



何気なく足を踏み入れた通りの風情、高台から目にした町全体の雰囲気……。観光ポイントのみならず、そんな、いわば普段着の津和野の姿に魅力を感じる人が少なくない。この町独自の歴史的な陰影が、そのような素顔にこそ濃く漂い、人の心を引き付けるのだろうか。

津和野郵便局は、JR津和野駅と観光客で賑わう一画との中間地帯、まさに上記のような、生活感と昔ながらの趣が同居する町並みの中であって、個性の発露と周辺環境への配慮の両立を目指したものだといえる。

大きな勾配屋根を頂いた外観は、幾何学的でシャープな印象である。外壁には杉板が張られており、木目が見える程度の薄さでグレーの塗装が施されている。シックな色使いとも相俟って、全体的にはさっぱりとした現代的な表情をもつ建物であるが、同時に、木の温かみや柔らかさも十分に伝える「和風」の趣も備えたものとなっている。側道部分の水路を整備して菖蒲を植える、外部の床板にはJR山口線の枕木を再利用するなど、地域性を取り込んだ試みもなされている。また、昔ながらの円筒形のポストも、この街角にふさわしいアクセントとなっていた。

(八田典子)

# 個人住宅部門 奨励賞



## 橋本家住宅

所在地	設計者	概要
松江市石橋町193	飯田善四郎建築設計室	延床面積 306.86㎡
事業主体	施工者	構造 木造2階建て
橋本広幸	(有)石川工務店	屋根：いぶし瓦葺
		外壁：モルタル刷毛引リシン吹き付け
		完成年月 平成6年6月



一般的に、市街地の古くからある住宅地では、中小規模の住宅がさほど広くはない道路沿いに密集して並んでいる様や、そこでは道路と住宅敷地の境界は無機質なブロック塀かフェンスなどで遮断され、恐ろしく無愛想な光景が作り出されていることは珍しくない。

この住宅は、松江市街地北部に位置する、国道沿いのやはり古くからある住宅密集地の一角に建っているが、ここでは道路に面したゆったりとしたアプローチ兼用の屋根のない駐車場が確保され、やや窮屈そうな全面道路に広がりを持たせている。セットバックされた土壁風の塀の高さも適当で、その内側にある樹木も道路に潤いをもたらしてくれている。門や母屋は切妻屋根のスッキリとしたデザインとなっており、塀やその足下の島石の植え込みを含めて、全体に落ち着いた雰囲気をつくりだし周囲の景観形成に大きく寄与している。願わくば、駐車場にもう一工夫（例えば駐車にじゃまにならない程度の植樹等）あればさらに環境形成に貢献することになるであろう。

(小草伸春)

# 個人住宅部門 奨励賞



## アトリエHEARTH

### 所在地

大原郡大東町大字新庄411-12

### 事業主体

村上修二

### 設計者

村上建築設計事務所

### 施工者

(有)大社建設

### 概要

建築面積 114.00m<sup>2</sup>  
構造 木造2階建て  
屋根：石州瓦葺（一部耐侯鋼板）  
外壁：杉下見板防腐剤入り塗料塗  
完成年月 平成10年10月



この住宅は交通量の多い県道・松江木次線に面していて、運転者や道行く人々の目に付きやすい位置にあると言える。建築家の事務所兼住居ということで、見られることを多分に意識した住宅であり、田園生活を楽んでいる住人のライフスタイルがよく現れている。目立つと言っても決して景観的に自己主張はしておらず、自然素材にこだわって、むしろ周りの風景に溶け込もうとしているように見える。

家の裏側はうっそうとした樺などの樹々におおわれた川となっており、夏にはベランダで旅人と一緒にホテル観をするという。そんな恵まれた周辺環境も相まってこの地域に良い雰囲気を作りだしている。一年に5回も展示会やリサイクルを開催して地元のコミュニティの場となっているのも、塀を作らずオープンな佇まいで親しみやすい建物となっているからだろう。ひとつ注文をつければ、畑越しに見える壁面の空調外機に、景観面からの配慮が欲しいと思った。

(田村美幸)

# 工作物・その他部門 優秀賞



## J R 木次線トロッコ列車「奥出雲おろち号」

### 運行開始

平成10年 4月

### 運行区間

J R 木次線木次駅～備後落合駅間  
(木次町・大東町・仁多町・横田町・西城町) 60.8km

### 事業主体

西日本旅客鉄道(株)米子支社  
木次線強化促進協議会

### 設計者

島根デザイン専門学校 加本千佳 講師

### 列車の概要

3両編成。気動車+控え車(雨天時使用)  
+トロッコ客車(定員64名)



出雲横田駅の近くの踏切で待った。紅葉の季節がほぼ終わりかけ、明日には運転がお終いになるという日で、雪も降り出しそうであった。

やがてゆっくりと奥出雲おろち号が現れた。白とブルーに塗り分けられた車体は後ろの山の緑と紅葉によく映えて見えた。映えると言っても、自己主張をする映え方ではない。適度のスピードで通り過ぎるから、適度に刺激的である。このデザインが賞の対象だけれど、それよりこの企画自体が景観賞に値する。すなわち、景観を鑑賞する仕掛けがいい。

このトロッコ列車の存在によって鉄道沿線の景観は常に意識されるだろう。旅客たちは奥出雲の自然を楽しむと同時に奥出雲の歴史と伝統を思う。他に同様のアイデアはあるにせよ、いつまでも続けて欲しいと思う。

寒いから、トロッコ列車に乗っている人はいないのじゃないか、といささか心配であったけれど、やってきた奥出雲おろち号には紅葉を楽しむ少なからぬ客があった。

(布野修司)

# 工作物・その他部門 特別賞



## 高津川の水制工作物「聖牛」

### 所在地

益田市高津川奥田地区  
(安富・神田地区)

### 事業主体

建設省中国地方建設局  
浜田工事事務所

### 設計者

建設省中国地方建設局  
浜田工事事務所

### 施工者

日新建設(株)

### 概要

「聖牛(ひじりうし・せいぎゅう)」  
やや急流な箇所に適する水制として使われ、正面  
に水流を当てることにより、水の勢力を抑える効  
果がある。丸太や鉄線蛇籠などを用いて造る。

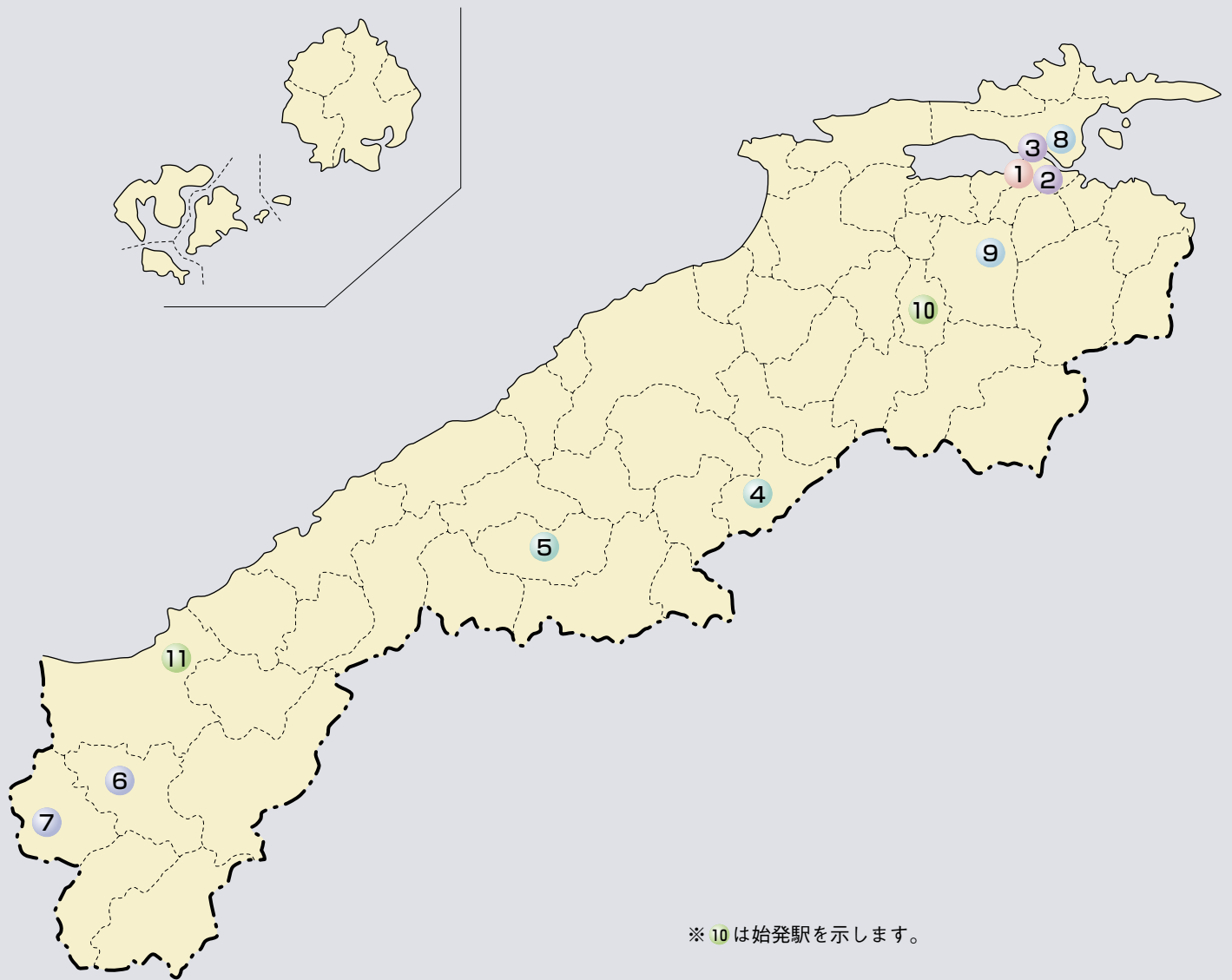
設置数 5基  
大きさ 長さ約7.5m 高さ約3m  
材質 生松丸太 末口15cm  
蛇籠5m 11本  
重量 約1t/基  
完成年月 平成11年3月



近年、根固め工・護岸の強度が向上したため、水制工はほとんど用いられなくなってきたが、環境への配慮から多自然型の河川整備が行われるようになって、伝統的な治水工法が見直されている。その中で、この聖牛は伝統的な透過性の水制工である。ただ、このような伝統的治水工法を部分的に用いても、周辺の風景全体を考慮した整備でないと多自然型の川づくりとはならない。

しかし、従来の護岸整備により単純化された河道から、複雑でより自然に近い河道に一步でも近づき、単調な河川景観に変化をもたせている。従来のような護岸を必要最小限にとどめ、このような水制工によって積極的にその機能を高めれば、河川は生物にとっての良好な生息空間になり、ひいては環境及び河川景観の改善が可能となろう。今後さらに、周辺全体の風景を利用した整備につながっていくことを期待したい。

(藤居良夫)



※ 10 は始発駅を示します。

## 表彰対象事業・作品

### 大賞

- ① 島根県立美術館・岸公園・宍道湖袖師親水型湖岸堤  
事業主体／島根県・松江市・建設省中国地方建設局出雲工事事務所

### まち・みどり部門 奨励賞

- ② 忌部花街道  
事業主体／忌部まちづくり推進委員会

### まち・みどり部門 奨励賞

- ③ 松江市立第一中学校周辺の並木及び石積整備  
事業主体／松江市

### 土木施設部門 優秀賞

- ④ 小田川県単独砂防環境整備事業  
事業主体／島根県

### 土木施設部門 奨励賞

- ⑤ 石見やかみ地区県営ふるさと水と土ふれあい事業  
事業主体／島根県

### 一般建築物部門 奨励賞

- ⑥ 道の駅「シルクウェイにちはら・リバーサイド鮎のよりみち」  
事業主体／日原町・島根県

### 一般建築物部門 奨励賞

- ⑦ 津和野郵便局  
事業主体／中国郵政局

### 個人住宅部門 奨励賞

- ⑧ 橋本家住宅  
事業主体／橋本広幸

### 個人住宅部門 奨励賞

- ⑨ アトリエHEARTH  
事業主体／村上修二

### 工作物・その他部門 優秀賞

- ⑩ JR木次線トロッコ列車「奥出雲おろち号」  
事業主体／西日本旅客鉄道株米子支社・木次線強化促進協議会

### 工作物・その他部門 特別賞

- ⑪ 高津川の水制工作物「聖牛」  
事業主体／建設省中国地方建設局浜田工事事務所

平成11年度

## 第7回 しまね景観賞



しまね景観賞表彰銘板  
アルミ合金鋳物製

### 審査委員

- 小草 伸春 島根県建築士事務所協会会長  
田村 美幸 公共の色彩を考える会委員長  
八田 典子 国際短期大学助教授  
藤居 良夫 信州大学工学部助教授  
○藤岡 大拙 島根女子短期大学学長  
布野 修司 京都大学工学部助教授  
矢田 清治 島根県建築士会会長  
飯塚 紀 島根県環境生活部長

敬称略/50音順 ○印は審査委員長

### 審査経過

#### ■募集期間

平成11年7月10日(土)～9月10日(金)

#### ■募集結果

推薦(応募)総数……96通

推薦(応募)物件数…86件

#### ■第1回審査委員会(平成11年6月3日)

対象物、募集方法、審査日程、審査基準等の検討。

#### ■第1次審査(平成11年10月14日～10月29日)

推薦書類、写真により第二次審査の対象となる33物件を選出。

#### ■第2回審査委員会(平成11年11月27日・28日)

選出された33物件・活動について現地審査及び最終審査を行い、11物件・活動を選定。

#### ■表彰式(平成12年2月7日)

受賞事業・作品の事業主体、設計者、施工者に対して賞状を、事業主体には副賞として銘板も併せて贈



## 第7回 しまね景観賞第2次審査対象物件一覧

応募部門	物件名称	所在地
まち・みどり部門	レイクラインバス停（嫁が島）（嫁が島西） ※松江市立第一中学校周辺の並木及び石積整備 城山西側の堀川沿並木整備 採土場の法面緑化（採取跡地の緑化）～碎石、岩石 ※忌部花街道 町の風景	松江市嫁島町13-19地先、13-1地先 松江市外中原町 月照寺通りほか 松江市中原町地内 能義郡広瀬町山佐(有)越野組岩石採取場 松江市忌部町 飯石郡吉田村吉田町
土木施設部門	※小田川県単独砂防環境整備事業 斐伊川 県単 砂防環境整備事業 石照庭園（仮称） 揖屋ふれあい広場(連絡歩道橋・市川門之助)（ブロンズ像） ※岸公園 ※石見やかみ地区県営ふるさと水と土ふれあい事業水路工事	飯石郡赤来町大字小田 仁多郡横田町大字竹崎 大原郡木次町大字平田472 八束郡東出雲町大字揖屋町 松江市袖師町 邑智郡石見町矢上 石見町役場
一般建築物部門	西出雲駅南口広場待合室トイレ 松江堀川・地ビール館 ※道の駅「シルクウェイにちはら」 町営住宅「湯の香団地」 ※島根県立美術館 安来市営住宅 柳団地 いわみ温泉「霧の湯」及び石見町農林漁業体験施設「香遊館」 B & G財団 宍道海洋センター ※津和野郵便局 八束町保健福祉総合センター ちとせやつか	出雲市知井宮町 松江市黒田町509番地 鹿足郡日原町大字池村1997番地外 美濃郡美都町大字宇津川口71番地2 松江市袖師町1番5号 安来市荒島町2752-1 邑智郡石見町大字矢上8532-2 八束郡宍道町大字上来待201-1 鹿足郡津和野町後田口297 八束郡八束町大字波入1933
個人住宅部門	※橋本家住宅 板倉 好孝邸 内田邸の新築 秦邸改築工事 ※アトリエHEARTH（ハース） 八雲平原の家（妹の家）	松江市石橋町193 出雲市荻桴町125番地 大原郡木次町大字里方84番地69 出雲市西園町3754番地 大原郡大東町大字新庄411-12 八束郡八雲村大字平原275-1
工作物・その他部門	※高津川奥田根固工事の中の工作物 聖牛 石垣のある町 ラパンのサイン計画 歩行者用 案内サイン ※木次線トロッコ列車 “奥出雲おろち号”	益田市安富町奥田地内 大原郡木次町里方塔の村団地 松江市母衣町、西川津町 松江市内 J R 木次線 木次駅一備後落合駅間

受付順 ※は受賞作品

